

2020年3月期 第3四半期決算補足資料

2020年1月31日
住友理工株式会社

1. 連結経営成績〔IFRS〕(2019年4月1日～2019年12月31日)

① 連結損益計算書

(単位: 億円)

	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	前年同期比	
売上高	3,504	3,420	-84	-2.4%
事業利益*	74	88	+14	+18.7%
その他の収益・費用	△6	△6	-1	-
営業利益	68	81	+13	+19.0%
金融収支	△4	△8	-4	-
税引前四半期利益	65	73	+9	+13.8%
法人所得税費用	△32	△55	-23	-
四半期利益	33	18	-14	-44.0%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	17	7	-11	-61.8%
非支配持分	15	12	-4	-

* 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を含めて算出しております。

② 事業セグメント別業績

(単位: 億円)

		2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	前年同期比	
売上高	自動車用品	2,970	2,905	-65	-2.2%
	一般産業用品	534	515	-19	-3.5%
	連結計	3,504	3,420	-84	-2.4%
事業利益	自動車用品	61	76	+15	+24.6%
	一般産業用品	13	12	-1	-9.4%
	連結計	74	88	+14	+18.7%

③ 所在地セグメント別業績

(単位: 億円)

		2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	前年同期比	
売上高	日本	1,599	1,586	-13	-0.8%
	米州	779	764	-15	-1.9%
	アジア	1,095	1,079	-17	-1.5%
	欧州その他	438	402	-36	-8.3%
	消去又は全社	△408	△410	-2	-
	連結計	3,504	3,420	-84	-2.4%
事業利益	日本	△10	11	+20	-
	米州	△2	△3	-2	-
	アジア	101	92	-9	-9.0%
	欧州その他	△9	△6	+3	-
	消去又は全社	△7	△7	+1	-
	連結計	74	88	+14	+18.7%

(注) 各セグメントには、セグメント間取引消去前の数値を表示しております。

④ 為替レート(期中平均)

	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	前年同期比	
円/米ドル	111.15	108.68	-2.47	-2.2%
円/ユーロ	129.50	121.05	-8.45	-6.5%
円/人民元	16.61	15.60	-1.01	-6.1%
円/タイバーツ	3.41	3.53	+0.12	+3.5%
円/メキシコペソ	5.74	5.64	-0.10	-1.7%
円/ブラジルレアル	29.41	27.16	-2.25	-7.7%

(注) 金額や増減率等の数値は、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

2. 業績の概要

(1) 売上高

3,420億円 (前年同期比2.4%減)

<事業セグメント別概況>

① 自動車用品 2,905億円 (前年同期比2.2%減)

- ・販売数量は増加したものの、対人民元、ユーロ中心に円高が進行したことによる為替換算のマイナス影響により、セグメント全体では減収
- ・日本では、消費増税の影響で自動車生産台数が減少したため、減収
- ・米国やメキシコでの自動車生産台数減少や、円高ドル安により、減収
- ・中国では新排ガス基準「国6」対応ホースの販売増加が寄与し、増収。一方、タイは外需減少、インドはオートローン審査厳格化などによる内需減少の影響で、減収
- ・欧州は、自動車生産台数減少や円高ユーロ安により、減収

② 一般産業用品 515億円 (前年同期比3.5%減)

- ・プリンター機能部品は、プリンター市場縮小の影響により減収
- ・高圧ホースは、中国での建設・土木機械向け需要の減少のため減収

(2) 事業利益

88億円 (前年同期比18.7%増)

<事業セグメント別概況>

① 自動車用品 76億円 (前年同期比24.6%増)

- ・日本は、経費圧縮や原価低減を進めたことにより、増益
- ・米国は、人手不足を背景とした生産性低迷への対策を実施したことにより、3Q (10-12月) は改善傾向にあるものの、3Q累計 (4-12月) では減益
- ・「国6」対応ホースの販売増加により中国が増益、タイやインドは販売数量減少のため減益
- ・欧州は、イタリアなどでの構造改革の効果が表れ、収益が改善

② 一般産業用品 12億円 (前年同期比9.4%減)

- ・プリンター機能部品や高圧ホースの販売減少のため、経費圧縮を進めたものの、減益

(3) 法人所得税費用

△55億円 (前年同期は△32億円)

- ・第1四半期に実施した子会社再編に伴い、一時的な法人所得税費用が増加

3. 連結業績予想

2020年3月期連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	事業利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	円 銭
2020年3月期通期予想 (A)	4,500	100	80	70	20	5	4.82
前期実績 (2019年3月期) (B)	4,697	94	12	7	△29	△50	△48.37
増減額 (A-B)	-197	+6	+68	+63	+49	+55	-

事業環境は、米中通商協議が第一段階の合意に至るなど、貿易摩擦に改善の動きがみられるものの、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済減速のリスクはむしろ高まっています。また、収益性改善に向けて、全社的な体質改善を進めていることから、2020年3月期の連結業績予想は、2019年10月31日に公表した数値から変更はありません。

以 上